

aftereffectsで 動画作成

基本の流れを覚えよう

aftereffectsってどんなソフト？

- 素材を配置して動画を作る
 - 映像編集というよりは、自分で映像を作り上げる感じ
 - 映像編集にはpremiere
- デジタルアニメーションを作ったりもできる
 - エフェクトをつけるのが得意

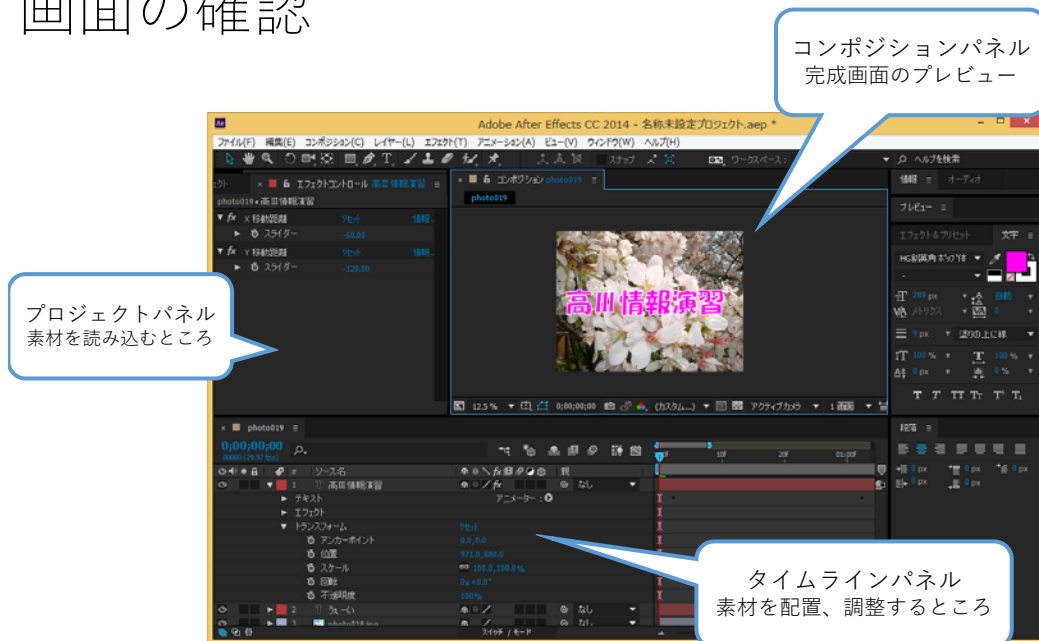
アイキャッチを作ってみよう

- 文化祭の廊下に投影する 5 – 10秒程度の動画
- 「情報演習」「情報選択」「ソフトウェア演習」「ゲームコーナー」「女子部」「電子工作・ロボット」「プレゼンテーション」「八重桜祭」など、情報演習展示や八重桜祭に関係のある言葉をアニメーションさせる

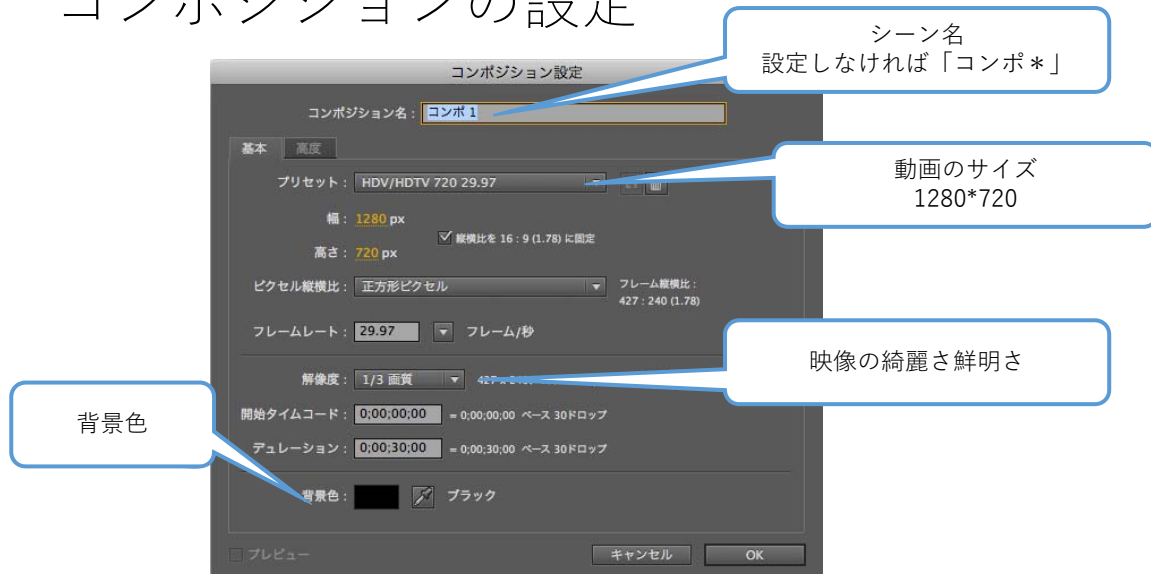
ファイルとコンポジションの作成

- ファイルは全体のまとめデータ
- コンポジションが実際の映像データ
- 1つのファイルに複数のコンポジション作成可
 - コンポジション＝シーン

画面の確認

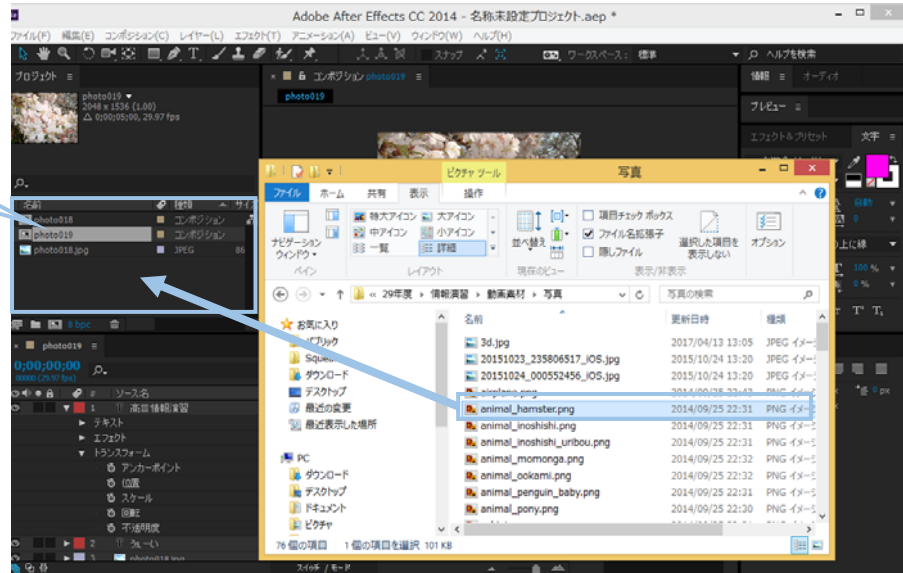


コンポジションの設定



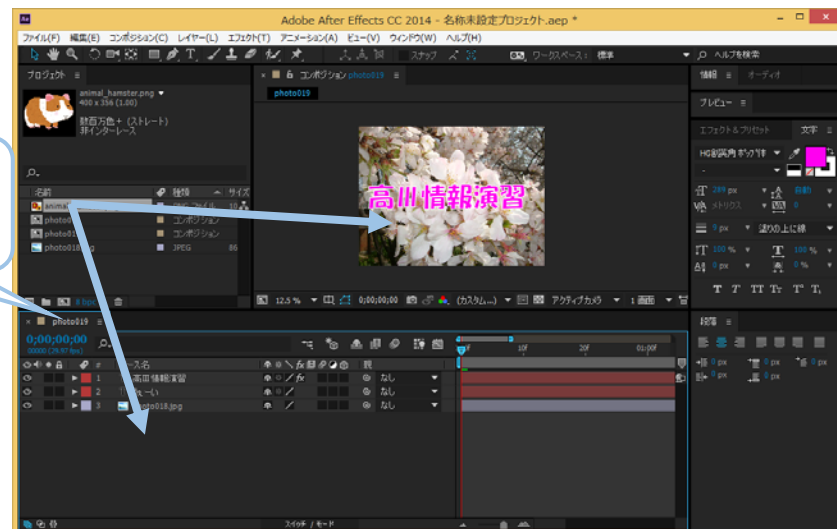
素材の読み込み

使いたい素材データを
プロジェクトパネルに
ドラッグ&ドロップ

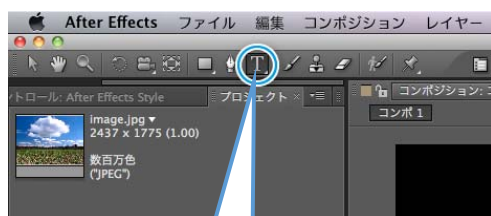


素材の配置

配置する素材をタイム
ラインかコンポジショ
ンパネルにドラッグ&
ドロップ



テキストレイヤーの追加



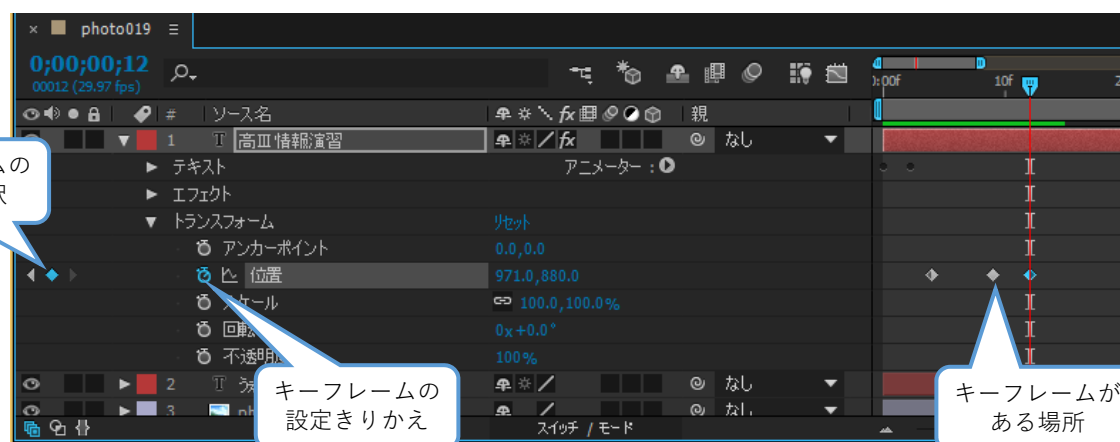
- ①クリック
- ②コンポジションパネル上でドラッグして範囲を指定



文字の各種設定

トランスフォームでアニメーション設定

キーフレーム：パラメータの変化ポイントになる場所。



キーフレームの追加・選択

キーフレームの設定きりかえ

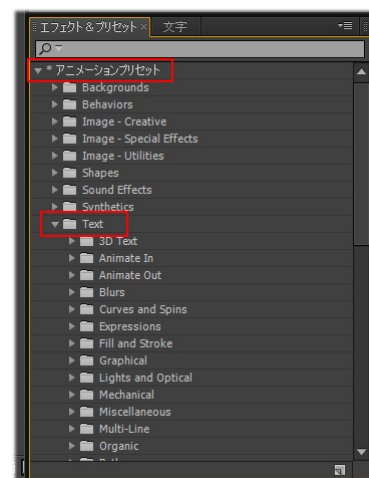
キーフレームがある場所

トランスフォームの種類

- アンカーポイント
 - 素材の中心位置の設定
- 位置
 - 位置をxy座標系で指定して、動かすアニメーション
- スケール
 - 大きさを指定して、大きくしたり小さくしたりするアニメーション
- 回転
 - 角度を指定して、ぐるぐる回転するアニメーション
- 不透明度
 - 透過度を指定して、じわじわ表示するアニメーション

アニメーションのプリセットを使う

- ① テキストレイヤーを配置
- ② ウィンドウ→エフェクト&プリセット
- ③ アニメーションプリセット→テキスト
- ④ 適用したいエフェクトをテキストレイヤーにドラッグアンドドロップ



書き出し

- レンダリング・・・映像データに書き出す。圧縮必須。
 - avi形式→windowsで使える編集用映像形式。大きい。
- MediaEncoderを使って書き出し・・・直接圧縮する
 - mp4形式→配信用の形式。小さい。

リンク

- <https://helpx.adobe.com/jp/after-effects/using/examples-resources-text-animation.html>
- <http://ae-style.net/basic/>